## TNTmips: テーブルのフィールドの値を範囲指定し、該当ポリゴンだけを抜き出す

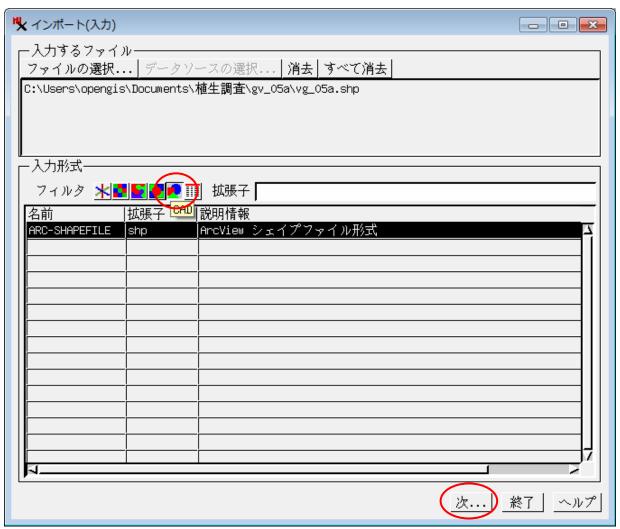
以下の例は、属性テーブルを持つポリゴンを **テーブルの特定の範囲を指定して抽出する** 作業です。テーブル の**属性を使用する**方法と**スクリプトを使う**方法をご紹介します。

例で使用している shape ファイルは、自然環境保全基礎調査 http://www.vegetation.biodic.go.jp/ の 植生調査情報です。あるポリゴンデータより MAJOR1 フィールドのコード 9075~9080, 9100~9103 だけを抽出す る、のが目標です。

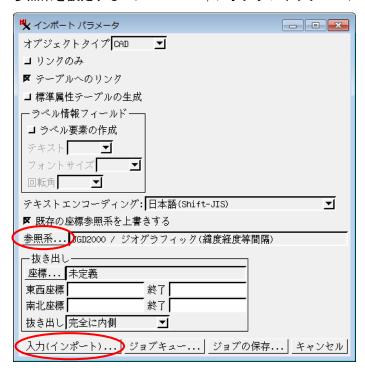
まず使用する Shape ファイルを RVC の CAD に変換してインポートします。複雑なデータなので RVC のベクタに変換するより早いです。

メイン>インポート>ファイルの選択>入力 shape ファイルを選択: フィルタはCADを選択

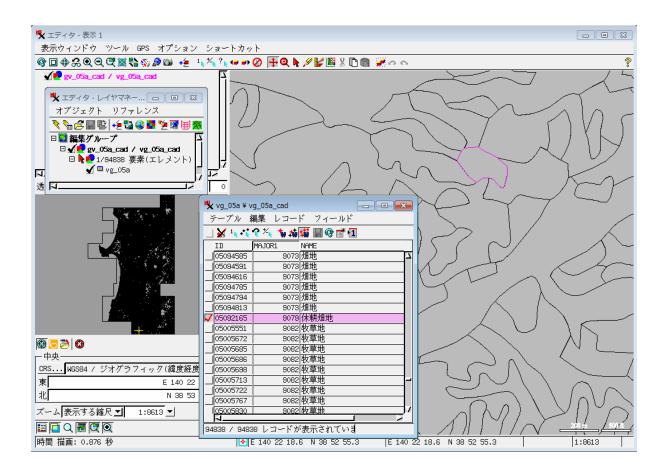
TNTmips Pro 2015 #21072 0	8 Jul 2015				- • X
メイン 画像 タイルセット	各種図形	地形	データベース	スクリプト	ツール ヘルプ
<u>表示</u> 編集					
<del> </del>	.				
入力(インポート)					
<u>出力(エクスポート)</u> 構築					
TNTatlas					
終了					



## 参照系を設定する > JGD2000/ジオグラフィック > 入力(インポート) を実行

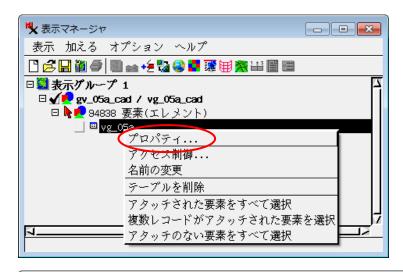


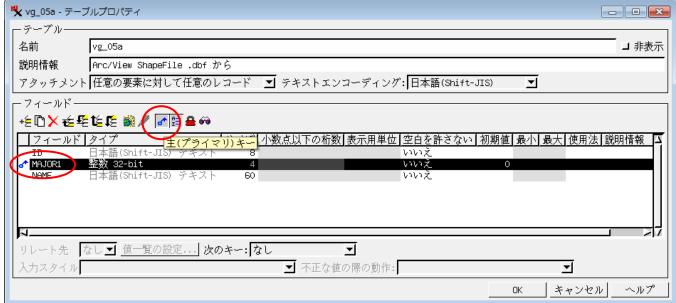
インポートした CAD データを メイン>表示 から開いて確認します。 テーブルを開いて、該当するポリゴンを確認 > このデータには2つしかないようです。



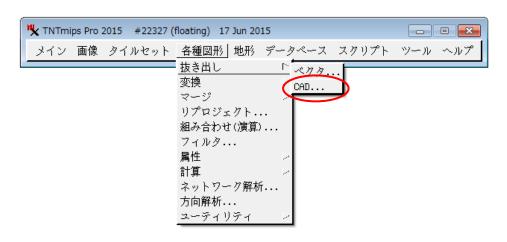
テーブルの設定を行います。

表示マネージャから右クリックしてテーブルのプロパティを開き、注目するフィールドを**主(プライマリ)キー**に設定しておきます。(ここでは MAJOR1 フィールド)



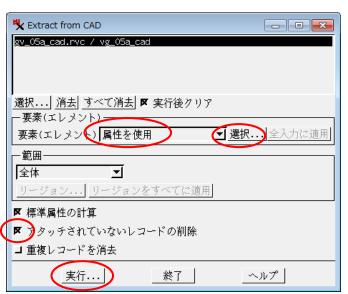


このCADオブジェクトはいったんクローズして、該当するポリゴンを抜き出す処理に行きます。 TNTmips メインメニューから、各種図形>抜き出し>CAD



各種図形>抜き出し>CAD の画面で、

要素 > 属性を使用 > 選択 > フィールドの値を選択 > 受け付ける > 実行



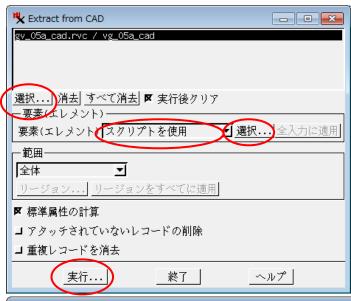


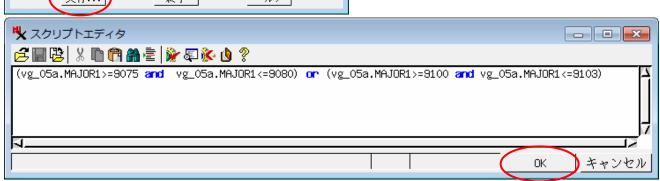
シフトキー+クリックで連続範囲の選択ができます

フィールドの選択範囲が多い場合はスクリプトを使う方法が便利です。

インポートしたCADデータを選択、

要素 > スクリプトを使用 > 選択

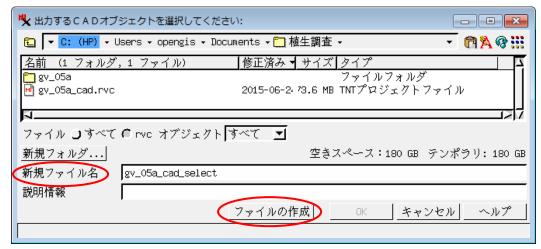




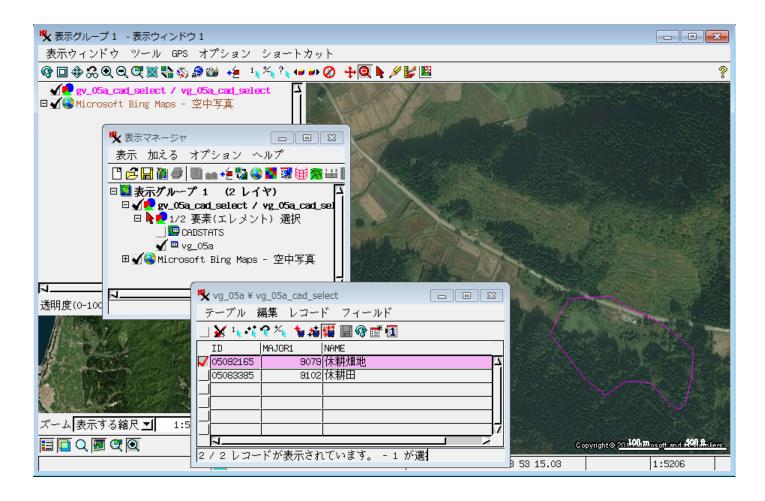
スクリプトエディタに以下のテキストを書きます。

 $(vg_05a. MAJ0R1>=9075 \text{ and } vg_05a. MAJ0R1<=9080) \text{ or } (vg_05a. MAJ0R1>=9100 \text{ and } vg_05a. MAJ0R1<=9103)$  O K > 実行

## 出力ファイル名を入力>ファイルの作成>OK>終了

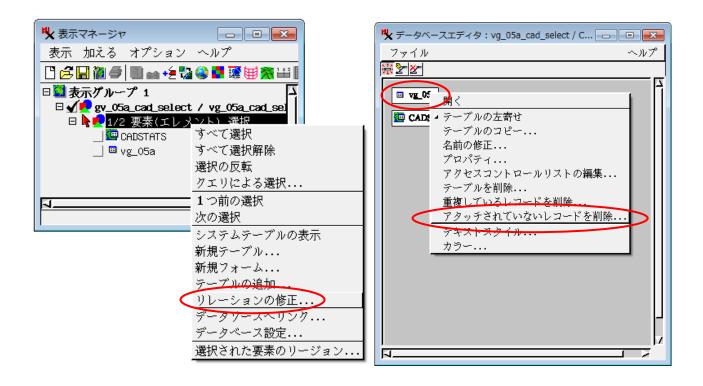


メイン>表示 で出力ファイルを表示してみます。(Bing Maps の空中写真に重ねて表示しています。)



ここで上のような残っているポリゴンだけのテーブルにしたい場合は、次の手順で。

表示マネージャ - 右クリックメニューで「リレーションの修正」を開き、 テーブル名を右クリックして、「アタッチされていないレコードを削除」



もしくは、抜き出し処理のときに、ロアタッチされていないレコードを削除にチェックを入れておきます。

Bing Maps の空中写真等を重ねて表示するときは下のメニューです。

